

【公 開 用】

様式第1号（第3条関係）

【足立区地域自立支援協議会相談支援・くらし部会】会議概要

会 議 名	令和2年度 第1回 【足立区地域自立支援協議会相談支援・くらし部会】
事 務 局	福祉部 障がい福祉センター
開催年月日	令和2年9月24日（水）
開催時間	午後2時～午後3時40分
開催場所	障がい福祉センター 5階 ホール
出席者	別紙のとおり
欠席者	別紙のとおり
会議次第	I部 1. 開 会 2. 講 義 「災害時の区民の安心安全をどう守るか」 ～水害にそなえて～ 足立区総合防災対策室 災害対策課災害対策係長 下川 貴行 II部 1. 議 事 (1) 部会長挨拶 (2) 協議 活動計画について 2. 事務連絡
資 料	配布資料 ・ 次第、席次 ・ アンケートまとめ ・ 講義「災害時の区民の安心安全をどう守るか」 ・ 冊子「足立区洪水ハザードマップ」 ・ 冊子「東京タイムライン」

## I 部

### 1. 開会

○事務局員（自立生活支援室 佐々木） 定刻になりましたので始めさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。ただ今から、第一回、足立区地域自立支援協議会専門部会を開催します。

今回は、相談支援部会とくらし部会の合同開催となります。次第に入る前に本日の配布資料を確認させていただきます。

（資料読み上げ）

次に、新型コロナウイルス感染症対策についてお伝えいたします。本日の会議は、感染症対策として、室内の常時換気、サーキュレーターを使用し空気の循環を行いながら実施いたします。感染症対策のため通常より会議の時間を短縮し、1時間半程度とさせていただきます。

第二部に入る前の机の移動の際、数分程度休憩を取りますので、ホールから出るなど個々の対応をお願いいたします。

なお、会議中に体調不良を感じられた場合は事務局員にお声かけをお願いいたします。

次に注意事項を申し上げます。

この会議における内容及び発言者名等は議事録として後日足立区ホームページに公開いたします。議事録作成のために本日の会議の様子を録音させていただきます。

本日ご発言をいただいた委員の皆様には、後日議事録の原稿をお送りし、内容の確認をしていただきますので、お名前を告げていただいてからご発言いただきますようご協力をお願い致します。

それでは、まず始めに開会のあいさつを当障がい福祉センター江連所長よりお願い

します。

○障がい福祉センター江連所長挨拶

皆様こんにちは。本日は自立支援協議会合同専門部会にお越しいただきありがとうございます。

本来ならば7月に開催予定でしたが人が集まるというリスク、障がい分野での発生の影響が及ぶことなど、前日前々日のご案内となってしまうが、ご了承いただければと思います。平成30年度からリニューアルさせていただき、地域の課題を掘り起こし、次の2年のクールを皆様にまさしく台風が来ている状況ではありますが、理解を深め課題をコロナの時期なので短時間で密な議論をしていただきたい。よろしくをお願いいたします。

○事務局員（自立生活支援室 佐々木）

続いて委嘱状の交付になりますが、お時間の都合上交付式は省略し、委嘱状等については席上配布とさせていただきますのでご確認ください。なお、足立区地域自立支援協議会本会の委員及び、既に他の部会にご出席いただいている委員については交付済みとなっておりますのであらかじめご了承ください。

続きまして今期の委員を紹介いたします。足立区地域自立支援協議会の任期は2年となっており、今年度はメンバーが入れ替わっての新たなスタートになっています。事務局より所属とお名前を読み上げますので、委員の方はその場でご起立をお願いします。

（司会が呼名し、起立して挨拶）

続きまして、オブザーバーの紹介です。名前を読み上げますのでその場で起立をお願いします。

次に事務局ですが、今回は合同部会のため多くの事務局員がおりますので、ここで

は一人ずつの紹介は割愛させていただき、起立のみで紹介いたします。

それでは次第の2番目、講義に進みます。この今回のテーマは「災害時の区民の安心安全をどう守るか～水害にそなえて～」です。講師は足立区災害対策課災害対策係下川係長です。よろしく願いいたします。

## 2. 講義

「災害時の区民の安心安全をどう守るか  
～水害にそなえて～」

(講義後)

○事務局 (自立生活支援室 佐々木)

これより質疑応答に移ります。事前に部会員の方からのアンケート、質問等をいただいておりますので、そのあたりも含め、お話しさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

質疑応答

○酒井部会長 (くらし部会)

アンケートをとったものに関して書面で回答できないか？内容としては短い時間では難しいのではないかと？

○下川講師

件数が多いのでお時間がかかってしまうこともあるが回答をしていく。内容が動いていることもあるので、この時点ではという回答となる。

○池田委員 (くらし部会)

要支援者の避難確保計画の提出先はどこか？

○下川講師

災害対策課へお願いします。

○事務局 (自立生活支援室 佐々木)

時間になりましたのでこれより第2部準備のため数分の休憩に入ります。

ホール前側をくらし部会、後ろ側を相談支援部会とします。

部会ごとの協議は3時30分までとしま

すので、各部会長は議事進行をお願いいたします。

## 【相談支援部会】

### II部

#### 1. 議事

○事務局 (自立生活支援室 佐々木)

ここからは進行を森部会長をお願いいたします。

#### (1) 部会長挨拶

○森部会長

今年度すでに9月であるが、1回目ということで、委員の皆様もリニューアルしている。生活拠点についての課題も出てくると思うが、当面は今話をいただいた災害について事務局とも打ち合わせさせていただき、活動計画書の叩き台を作成した。

#### (2) 協議 活動計画について

<今年度の重点課題> (資料3)

「災害時における相談支援の役割と実施について」

「災害時におけるサービス等利用計画などの作成について」

「災害時における相談支援活動と自立支援協議会の取り組みについて」

重点課題について聞きたいことがあったら見ていただいて併せて答えていきたい。

○事務局 (自立生活支援室 佐々木)

当初は3回開催予定であったが、コロナ感染症の影響で7月が中止となった。今後については11月の部会の内容で、委員の皆様と協議し、例えば3月などに第3回目を開催することも可能である。

昨年度までは地域生活支援拠点の話し合いをしていたが、災害時の対策についても、皆様からのご意見を頂きたい。

○青木委員

ペンディングとなっているが、防災関係と地域生活支援拠点は重なる部分がある。地域生活支援拠点の進捗状況はどうなっているのか？

○江連委員

これから担当の二見が来る予定。かなり遅れてきますが、今の状況を伝えていただけるかと。

○森部会長

今後の生活支援拠点については、障がい福祉課がやっていくということによいか？

○江連委員

はい。

○森部会長

下打ち合わせをした中で、障がい者だけに固執せず、生活弱者の実態がどうなっているのか、全体的に把握したうえで障がい者も考えていったほうが良いのではとの話になった。

うちでは法人では自立生活援助事業を行っており、障がいをお持ちで単身者の生活での緊急の支えなどを行っている。昨年8月から単身生活を始めた方が9月の台風で、逃げる場所やどこに聞いてわからず一人でパニックになってしまった。たまたま近隣の施設に避難できたが、今後もそのような状況が起きる可能性がある。いつでも母体の法人が助けてくれるとは限らない。自分で対処しなければならないが、その時も放送が流れてきてもどこに避難していいかわからない状況であった。誰かが家を見に行くわけにもいかず、事業所として事前の準備が必要で、すごく甘かった。

翌日戻ってきてからの日々の生活に戻し

ていくかなどたくさんの方の防災の準備が必要。皆様の施設ではどんな準備をしているのか？相談の事業所は何の準備をしたらよいか？相談委員や民生委員は施設がないので、どんな風な工夫をしているのでしょうか？

○小田部委員

私の管轄地区では独居の人はたくさんいる。元気であるかの確認はしている。しかし、一人二人ではないので、3人以上は一人では見られない。また、地域に固まっているわけではなく、独居の生保や身体障がい者など、誰か近くの人に受け持ってもらえないか？と声掛けをし、自分で拠点を作って送ってもらうのはどうか？と思っている。

○青木委員

担当しているお母さんから、去年の台風の時に、事後に避難所へ行ったがパニックで過ごせなかった。小さい子もいて、避難して過ごせなかった。親の会では、あらためて事前にできることがあったのではないかと？その後1年対策はでき切れていないが、今年度、このテーマになる前に、特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会「避難行動用支援者に対する個別計画作成における計画相談支援事業者等の協力に関する調査・研究事業」の冊子を購入した。

熊本の情報や好事例をもとに、相談支援事業所がどう取り組んだかが具体的に掲載されている。足立区でもそのままでも、参考になる事もあると思うので、これを活用に最初のアクションを起こしてみるのもいいのでは。

○蓮實委員

去年の19号の時には、職員も来れず、土・日・月施設が休みになった。週明け**蕨労働支援事業所**に、利用者に聞いたが、近くの避難所に行ったが、閉まっていた。ふ

れんどりいも閉まっけて友達に聞いて避難所に行った。そこで担当の人に自分は周りに人がいると過ごせないと伝えて個室で過ごさせてもらったと報告があった。また、地域の人と避難所で知り合いなり現在も交流が続いているという話を聞いた。

でも、施設としてできることは、なかったのかなと。施設は福祉避難所になっておらず備蓄は災害対応の職員や帰宅できない利用者を想定している。万が一利用者が避難してきた時の対応について考えておく必要がある。

#### ○野口委員

長いこと生きていたが台風19号で初めての経験をした。41歳の息子がいて、荷物を持って近隣の小学校に避難した。受付で障がいがあることを伝えたが、普通に空いているところに案内された。大人しかだったのでパニックはなく泊まって過ごすことができた。仲間に聞いたらほとんどの子がパニックを起こしてしまい、周りに迷惑がかかったらしい。戸建て住居の場合には、避難しなければならない。もし氾濫していたらと思う。

台風は早くからわかるので、障がいがある人は、最初から決まったところに避難できるように第二次避難所の開設を障がい者に周知してもらえると助かる。親の会で役所に電話番号を聞いてきたものを伝えてある。

#### ○関口委員

団体としての活動をしているので情報を交換をしているが、早くからの避難に踏み切れない人が多く、これからはマスクをしないといけないなど、周囲の理解が必要で、なかなか避難できないことにつながるのではないかと思う。うちの近所の学校は統廃合で少し遠い学校へ避難しなければならない

い。遠くに移ることにあたって、もともとその土地に住んでいる人は減っていないことをわかっていただきたい。少子化で学校が減ることはあっても元々その土地に住んでいる人々は減っていないのを理解いただき、避難所としての学校(背の高い丈夫で公的な建物)が減ることが心配です。

うちの子は独歩出来ても、避難時には車イスを使用すると思われる。車イスに慣れていない人に預けなくてはならないということもあるので、車イスのチェックを日常的にしている。家の中で避難すると、避難所に行かないと物資がもらえないと聞いた。避難所に行けずに自動(垂直避難)で自宅で頑張っている人への物資援助などのたとえば札などを下げて取りに行くなど対応をお願いしたい。

福祉避難所として開いていても、そこにはいろいろな方が来てしまうかも知れないので、普段から近隣の人の目につくような表示をし、行動してもらえるような対応をしてほしい。近所の家族の人がで寝たきりになった。その方から水害があったらどうするか?と聞かれた。大変な人を抱えてどうするか?明るく生きていける指針がないことが寂しい。

#### ○中出委員

**災害時に避難するにあたって、協力者が課題。単身で重度ホームの方 ヘルパーに確認してもらおうように事前に連絡した。緊急 SOS 法人特有のネットワーク、直接自宅に行って支援**

知的障害の方に関しては避難すること自体ためらった。パニックになって周囲の人の迷惑になるなら、家で落ち着いて過ごして被災することも考えた。

2階に上がって親子で固まって過ごした。見直せないのか?と聞いたが、自分たちだ

けではどうにもできない。单身の方が大丈夫と言っているが。

○江連委員

- ① 要支援者の調査を区で行っている。民生委員が訪問するのもコロナで難しく、家で避難ができるかを調査している。
- ② 台風19号時は、学校への避難で難しい方がたくさんいたとのこと。重度の方という認識があったので、少し離れた部屋に隔離し、気を使わないように配慮したが、障がい理解が難しい職員に対しては、理解できるような要支援者のリストの更新を今見直ししている。障がい種別ごとの配慮の観点のポイントをまとめるように、マニュアル的なものを作り安心して過ごせるようにしていきたい。
- ③ 配給の部分では、避難の名簿を作って本部に連絡しているので、配給も名簿の人数で送られていくと思われる。家庭で避難している場合にどうするか？取りに行く場所を作るのか、家庭避難を推奨している中で、観点として挙げていくということを取りまとめの中に入れておくといよいのではないかと、3日以上で。
- ④ 相談支援事業所として何ができるかは関心があるところで、本当であれば計画相談の中でできるのか？他件？などお金が・・・計画相談、ケアマネがどう対応していくのか、ご意見をいただきたい。

○野口委員

避難した時に感じたが、区からのお知らせが一切なかった。何の話もなく片付け始めてしまい、周りの状況で判断したが、大「大丈夫ですよ」というアナウンスが欲しかった。

○江連委員

避難所開設の受持者にも事務局にも区の本部からの情報が非常に少なかった。次の課題と挙げられている。

○森部会長

先ほど青木さんが言っていた資料をデータでもらえないか？HPのアドレス案内をすることとする。

○事務局（自立生活支援室 佐々木）

アドレスや資料を会議録とともに、送付します。

○青木委員

相談支援事業所としては、5か所の取り組みを共有できたかと思うが、ネットワークで当時どんな取り組みをしたか、どんな利用者の声があったか、地元にも好事例があるならば、次までに情報収集ができれば、協議会としての成果を出せるのでは？

○森部会長

皆さんの意見を聞いただけで、結論が出せないままではあるが、時間も過ぎているので、次回も継続して協議していく。

○事務局（自立生活支援室 佐々木）

本日の議事録の原稿が出来上がりましたら皆様に送付いたしますので内容の確認をお願いいたします。本日確認が必要な内容につきましては、後日確認し、調べて次回の部会にむけ、情報共有させていただく。

それでは以上を持ちまして足立区自立支援協議会第一回相談支援部会を終了いたします。本日はご出席いただきありがとうございました。

次回

12月16日（水）14時からあしすにて